

(様式2) 【発表要旨】

<発表者> 指導区名：鹿児島指導区 氏名：瀨田 肇次

1 発表テーマ

鹿児島地域における森林経営管理制度支援

2 テーマの趣旨・目的 <取組課題選定の背景含む>

森林資源が充実する中、森林経営管理制度に基づく意向調査の結果を森林整備に繋げるためには、委託希望森林の集積計画作成時に林業経営の可否を判断する力や将来に向けた森林施業の方針を作成する力が市町村職員に求められている。

そこで、市町村職員を対象に間伐等の森林整備に必要な立木評価・経費積算手法、森林作業道の出来形管理等の研修を通じて、森林経営管理制度を推進した。

3 現状及びこれまでの取組の成果・課題

① 現状

森林所有者への意向調査は進んでいるが、その後の集積・配分計画や市町村森林経営管理事業までには至っていない箇所が多く、令和6年度末の管内の森林整備済み面積は委託希望森林で対応した面積の15%にとどまっている。

② 成果（目標数値等を定めた場合は、その成果を含む）

- ・市町村地区定例会を実施し、市と林業事業体、県の3者で意向調査後の情報共有等を行った。
 - ・森林経営管理制度推進に向けた森林整備現地検討会を開催し、間伐等手遅れ林分を健全な状態にするための現地調査と森林施業方針の検討を行った。
 - ・木材生産収支試算研修及び森林作業道出来形管理研修を開催し、木材生産（再造林）に係る収支試算の考え方などの室内研修と間伐や木材生産現場に必要な森林作業道の管理手法の現地研修の実施により、森林経営の可否判断に関する理解を深めた。
 - ・市町村職員の技術向上研修（既存の森林経営プランナー研修の地域実践研修）に市林務職員を受け入れて、立木評価や立木伐倒搬出の経費の積算を行い、市町村管理事業の推進に繋がった。
- ★これらを通じて、令和7年度末の管内の森林整備済み面積は委託希望森林で対応した面積の24%に向上した。

③ 課題

- ・意向調査の結果、立木の状態が良く林業経営に適しているものの、小規模・分散的、搬出路の無い森林のため、配分計画に至らないケースも依然として多い。

4 今後取り組むべき内容

① 具体的手法又は検討方向

- ・ 意向調査の箇所選定（絞り込み）や意向調査後の「自ら管理」や「保留や回答無し」森林の集約化に向けた同意取得の取組で集積計画面積の増加につなげる。
- ・ 市町村森林経営管理事業の予算化や設計書作成に係る技術的サポート。

② 理由

- ・ 市町村職員のスキル向上と併せて、少ない林務担当職員での効率的な森林経営管理制度の運用が必要。
- ・ 地域林政アドバイザーの導入や専門性を有する現地調査や森林整備推進活動について業務委託を行うなど体制整備の支援が必要。

③ 期待する成果（目標数値等を定めた場合は、その内容を含む）

意向調査実施面積のうち森林整備済み面積の着実な増加。